

平成19年度 事務事業評価表		担当	総務部 財務課				内線等	1422
事務事業名	予算編成事業			事業コード	2 . 内部管理事務事業			
根拠法令等	地方自治法			A 法令				

総合計画での位置付け

基本目標	6 . 市民とともに歩むまちづくり	施策名	財政
------	-------------------	-----	----

事務事業の内容

対象（受益者）	予算編成について
手 段	効率のかつ効果的な予算を編成することにより
想定する成果	経費の節減を図るとともに将来にわたる財政の健全な運営を目指す。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
一般会計 当初予算額	23,603,000千円	23,586,000千円	22,742,000千円
市債残高	26,602,411千円	25,787,652千円	24,606,458千円

成果指標

成果指標名	一般会計当初予算額	市債残高
成果指標の説明	一般会計当初予算額	市債残高

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標		23,603,000千円				23,586,000千円				22,742,000千円			
成果指標		26,602,411千円				25,787,652千円				24,606,458千円			
事業費	事業費	566				570				610			
	人件費	27,244				19,525				19,613			
	(人数)	正規	3.5	非常勤		正規	2.5	非常勤		正規	2.5	非常勤	
	合計	27,810				20,095				20,223			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	27,810				20,095				20,223			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	3	2	3	改善の余地はあると思われるため、さらなる向上を目指す。
経済効率性	3	3	3	3	
事務効率性	3	3	3	2	枠配分予算の導入と新財務会計システムの導入により事務量の軽減がなされた。
必要性	-	3	-	3	内部管理事務事業
小計	8	12	8	11	
施策への貢献度	3	-	3	-	
合計	11	12	11	11	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	A	B	B	限られた財源を重点的・効率的に配分できるようさらなる改善を図っていく。
------	---	---	---	---	-------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
<ul style="list-style-type: none"> 一般財源ベースでの枠予算の実施を目指す。 現システムよりも効率的・効果的な新財務会計システムの運用を平成18年度から行う。
上記改善点の実施状況
実施済

今後さらに改善すべき点

インセンティブ制度の導入や人件費を含めた枠配分など枠配分予算の更なる改善を図る。また、事務事業評価との更なる連携を図り、効果的な予算編成を目指す。

平成21年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

